

第38回 九州シニアゴルフ選手権競技決勝

開催日：平成20年10月1日(水)・2日(木)

開催コース：長崎国際ゴルフ倶楽部

九州ゴルフ連盟

競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

a. 『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1a』を適用する。(ゴルフ規則 187 ページ参照)

b. ラウンド中に使用する球について、『ワンボール条件・ゴルフ規則付 I (c)1b』を適用する。(ゴルフ規則 187 ページ参照)

4. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1a』を適用する。(ゴルフ規則 185 ページ参照)

5. スタート時間

『ゴルフ規則付 I (c)2』を適用する(ゴルフ規則 188 ページ参照)。

6. 競技終了時点

本選手権競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

7. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付 I (c)6b』を適用する。(ゴルフ規則 191 ページ参照)

8. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b, c, d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は**競技失格**とする。 **この条件の違反の罰は競技失格**(ゴルフ規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断：1回の長いサイレンと、本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンと、本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

プレーの再開：1回の長いサイレンと、本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

9. 移動

正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付 I (c)9 移動』を適用する。(ゴルフ規則 193 ページ参照)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。

3. ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

4. 排水溝は動かさない障害物とする。

5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

6. 樹木保護のための巻物施設(巻網など)は樹木の一部とみなす。ただし、樹木の巻物にはさまった球は、**罰なし**に、その真下の地点から1クラブレンジス以内で、しかもホールに近づかない所ドロップすることができる。取り出した球はふくことができる。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。 **このローカルルールの違反の罰は、2打。**

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティインググラウンド付近に掲示して告示する。

2. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人24球を限度とする。

3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティを課す。

4. 9ホール終了後、プレーを遅らせなければクラブハウスに立ち入ることができる。

5. スタートの呼出は一切行わないので、スタート時間10分前までにはスターティングホールに待機すること。

6. 競技前日の練習は、アウト、インともスタートを14時で打ち切る。

競技委員長 古賀 秀 策